

「地域社会のつくり方」講座

～飯田市公民館が育んできたソーシャル・キャピタルとは～

住民同士がつながり、信頼関係を結び合う地域づくりを公民館がどのように進めていくか、飯田市の事例から学びました。

講義 地域社会のつくり方 公民館が育むソーシャル・キャピタル

鼎談 飯田市公民館は、どのようにソーシャル・キャピタルを育んできたか

日本女子大学准教授

荻野 亮吾 氏



講義

鼎談

元飯田市公民館副館長

木下 巨一 氏



飯田市竜丘公民館
元文化スタッフ

加藤 守孝 氏



参加者数 49名



〈受講者アンケートから〉

- 本来の公民館活動の狙い、果たすべき役割について理解することができた。(諸団体)
- 住民主体の分館活動と、そこに携わる職員の役割について学ぶことができた。(公民館)
- 公民館的手法をお聞きし、現在社協で取組む方向性と同じであり勇気づけられた。(社協)
- 公民館活動が現代の地域づくりに必要とされる要素が多く、現代にこそ求められるものだとの再認識できた。(公民館)
- 公民館を通して人と人のつながりが生まれることがよく分かった。(県・国)
- 「自分たちのことを自分たちで考えることが幸せにつながる」ということが、一番印象的だった。(公民館)

